

教育長定例記者会見

日時：令和4年1月20日（木）10：00

場所：教育委員会室

<広報事項>

○令和4年1月－2月の広報事項<教育委員会>	・・・・・・・・2
------------------------	-----------

<話題提供>

○滋賀県インクルーシブ教育賞について	・・・・・・・・4
--------------------	-----------

○しがこども体験活動実践交流会について	・・・・・・・・6
---------------------	-----------

○令和3年度 オリンピック・パラリンピック教育 「地域ワークショップ」の開催について	・・・・・・・・8
---	-----------

令和4年1月～2月の広報事項<教育委員会>

日時(期間)	タイトル	内容・会場 参加料(有料・無料の別)・事前申込の有無等	所属 (課名、室名、 機関名、学校名)	問い合わせ先 (担当者名、電話・ 内線番号)
① 学校行事、募集等				
1月22日(土) ～28日(金) 9:00～17:00 *28日(金)は 15:00まで	信楽高校習作展	授業で取り組んだ全校生徒の渾身の作品を展示します。3年生にとっては最後の作品展示となります。 ・会場: あいこうか市民ホール ・観覧料: 無料 ・事前申込: 不要	県立信楽高等学校	山崎 真理 0748-82-0167
1月25日(火) 13:00～13:20	滋賀県インクルーシブ教育賞表彰式	障害のあるなしにかかわらず、共生社会の形成に寄与したと考えられる地道な取組を行った児童生徒を表彰することを通して、共に学び共に生きる児童生徒の心を育むとともに県民のインクルーシブ教育や共生社会に対する理解促進を図ります。 ・会場: 野洲市立篠原小学校 ・受賞者: 野洲市立篠原小学校4年生	特別支援教育課	槇森 恭史 077-528-4643 (内線4643)
1月27日(木) 13:00～15:00	課題研究発表会	課題研究の発表会です。 ・場所: 近江八幡文化会館 大ホール ・対象: 全校生徒、教職員、本校保護者、学校評議員、地元商工会議所など	県立八幡商業高等学校	國領 紀宏 0748-32-2072
1月31日(月) 13:45～17:00	日野高カフェ	日野高校で「商品開発販売実習」を選択している生徒が、地域の人とのふれあいと、商品開発、原価計算などを学ぶことを目的に、カフェを運営します。 ・会場: 日野駅舎内「なないろ」	県立日野高等学校	奥村 源 0748-52-1200
2月9日(水) ～2月10日(木)	体育コースウィンタースポーツ実習	体育コースの生徒1・2年生がウィンタースポーツ(スキー・スノーボード)の実習を行います。冬山の大自然に親しみ、ウィンタースポーツの技能を習得するとともに協調性・連帯感等を深めることを目的としています。 ・場所: 箱館山 ・日程: 1泊2日	県立愛知高等学校	田畑 仁志 0749-42-2150
2月10日(木) 13:10～13:15	滋賀県インクルーシブ教育賞表彰式	障害のあるなしにかかわらず、共生社会の形成に寄与したと考えられる地道な取組を行った児童生徒を表彰することを通して、共に学び共に生きる児童生徒の心を育むとともに県民のインクルーシブ教育や共生社会に対する理解促進を図ります。 ・会場: 県立野洲養護学校 ・受賞者: 県立野洲養護学校 小学部・中学部	特別支援教育課	槇森 恭史 077-528-4643 (内線4643)
2月13日(日) 10:00～15:30	探究的な学習発表会	各校で実施された探究活動の発表や講演が行われます。 ・会場: 県庁新館7階大会議室 ・議事: 県立高等学校の生徒、教員	高校教育課	比良 正仁 077-528-4575 (内線4575)
2月21日(月) 14:50～15:10	令和3年度「湖の子」終航式	令和3年度児童学習航海を終了するにあたり、学習船「うみのこ」およびお世話になった方々に感謝の気持ちを表します。 ・日時: 令和4年2月21日(月) 14:50～15:10 (第101回児童学習航海終了時・大津港着船後) ・場所: 大津港 木工棧橋 出会いの鐘前 (雨天時: 大津港ターミナルビル待合室前) ・参加者: 湖南市立石部小学校 湖南市立菩提寺北小学校 (第5学年児童・引率教職員 計140名) 関係者(16名) 参加予定数合計156名	びわ湖フローティングスクール	中瀬 真一 077-524-8225
随時 (申込団体の希望する日時)	プラネタリウム学習	滋賀県総合教育センターでは、各季節の星の見え方や星座物語をプラネタリウムで解説し、小学校や幼稚園等における天体についての学習を支援します。 ・会場: 滋賀県総合教育センター 本館 ・参加料: 無料 ・対象: 小学生・幼児	滋賀県総合教育センター	科学教育係 077-588-2511

令和4年1月～2月の広報事項＜教育委員会＞

日時(期間)	タイトル	内容・会場 参加料(有料・無料の別)・事前申込の有無等	所属 (課名、室名、 機関名、学校名)	問い合わせ先 (担当者名、電話・ 内線番号)
② 研修・会議等				
1月20日(木) 13:30～16:30	令和3年度 学校を核とした 地域力強化プラン 事業成果報告会	各市町における取組事例の発表や講演を通じて、地域学校協働活動のさらなる展開やコミュニティ・スクールとの一体的な推進に向けて、今後の方策や地域と学校の在り方について、ともに学ぶ機会として実施します。 ・会場：県庁東館7階大会議室 ・参加費：無料 ・申込：必要(受付終了)	生涯学習課	山浦 良平 077-528-4654 (内線：4654)
1月28日(金) 13:30～16:30	令和3年度 家庭教育支援実践 交流会	各地域で家庭教育支援活動に取り組む人材等が集まり、家庭教育支援活動の現状や推進・人材確保方策等について学び、情報交換や情報共有をすることで、県内家庭教育支援活動のさらなる充実を図るための機会として実施します。 ・会場：県立男女共同参画センター(G-NETしが)大ホール ・参加費：無料 ・申込：必要	生涯学習課	川口 朋也 宮崎 良一 077-528-4654 (内線4655)
2月2日(水) 9:00～12:00	令和3年度 オリンピック・ パラリンピック 教育「地域ワー クショップ」	「令和3年度 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」に係るオリンピック・パラリンピック教育推進校の実践成果を報告する場として開催します。 共生社会におけるスポーツの役割について、「研究協議」と「外部講師による講演会」を県内の教員および関係者等を対象に行います。今年度は、外部講師として音楽家(前川 裕美氏 弱視ピアニスト)を迎え、スポーツ以外の視点も交えた幅広い講演により、一層の理解を図ります。 ・会場：県立男女共同参画センター ・対象：県内の公立小・中学校、県立学校の教員 および関係者等	保健体育課	富永 寛隆 077-528-4627 (内線4627)
2月2日(水) 14:00～	2月定例教育委員 会	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき会議を招集し、教育行政の重要事項について審議を行います。 ・会場：県庁新館4階教育委員会室 ・議事：未定(前日、記者室ホワイトボードに掲示)	教育総務課	大橋 雄一 077-528-4512 (内線4512)
2月3日(木) 13:30～16:30	令和3年度 しがこども体験 活動実践交流会	子どもの体験活動や青少年教育に関わる機関や団体が一堂に会し、地域での体験活動や「しがこども体験学校」の事例発表およびグループ討議を通して、今後の活動に活かすことを目的に開催します。 ・会場：県庁新館7階大会議室 ・参加費：無料 ・申込：要	生涯学習課 子ども・青少年局	生涯学習課 石田 由美 077-528-4654 内線：4656 子ども・青少年局 山本 千香子 077-528-3561 内線：3561
2月9日(水) 14:00～16:30	第4回社会教育 委員会議	本県における社会教育の在り方について審議するため、滋賀県社会教育委員会議を開催します。 ・会場：県庁東館7階大会議室 ・テーマ：「これからの地域を担う人材育成・ 確保のための社会教育・生涯学習のあり方」	生涯学習課	岩脇 俊博 077-528-4654 内線：4656

※新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、掲載する行事等が中止・延期される場合があります。
事前にお問い合わせください。

提供年月日：令和4年（2022年）1月20日
部 局 名：教育委員会
所 属 名：特別支援教育課
担 当 者 名：教育指導係 槇森
電 話：077-528-4643
E - m a i l：ma11@pref.shiga.lg.jp

滋賀県インクルーシブ教育賞

共生社会の
実現に向けて

「滋賀県インクルーシブ教育賞」は、県内の全ての小中高等学校、特別支援学校を対象に、学校生活において障害のあるなしにかかわらず、共生社会の形成に寄与したと考えられる地道な取組を行った児童生徒に対して表彰するもので、平成30年度に創設しました。この表彰を通して、共に学び、共に生きる児童生徒の心を育むとともに、県民のインクルーシブ教育や、共生社会に対する理解促進を図る機会になればと考えています。

今年度表彰するのは、県内の3
組5校の児童生徒です。それぞれ、
障害のある児童生徒とない児童生
徒が長年にわたり継続して共に学



【県立草津養護学校の表彰式】



【草津市立玉川中学校の表彰式】

んだり、活動したりすることを通じて、互いに成長し合えた取組となっています。

表彰は、1月～3月の間に、学校の状況に応じた形で行います。

【インクルーシブ教育システムとは】

人間の多様性の尊重等の強化、障害者が精神的及び身体的な能力等を可能な最大限度まで発達させ、自由な社会に効果的に参加することを可能とするとの目的の下、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組み。

(文部科学省HP「共生社会の形成に向けて」から抜粋)

令和3年度滋賀県インクルーシブ教育賞 表彰式日程

部門	学校名	受賞の理由			
		月日	開始	終了	
1	小 野洲市立 篠原小学校	1月25日(火)	13:00	13:15	<p>同じ小学校区で学ぶ同年代の児童が、一緒にうたやダンスゲーム等様々な活動をすることで、お互いのよさを認め合う経験を12年間に渡り行っています。この2年間は、新型コロナウイルス感染症の影響により、訪問による交流ができていません。今後の交流の方法について、ICTの活用も含め検討しています。</p> <p>今年度は、両校の児童が自己紹介カードを作成し、相手校に贈りました。篠原小学校の自己紹介カードの内容は、児童自らどうすれば内容がわかりやすく野洲養護学校の児童に伝わるかを考え、内容がわかりやすいように絵やイラストをつけるなど工夫し、1クラス分を模造紙3枚に分けて展示できるようにしました。</p> <p>篠原小学校は、これまで取り組んできた全学年を対象とし、代表として当該学年の4年生を、野洲養護学校は、小学部全員を表彰します。</p>
	小 県立 野洲養護学校小学部	2月10日(木)	13:10	13:40	
2	中 近江兄弟社中学校	3月7日(月)	16:40	17:00	<p>両校の交流は、県立野洲養護学校の前身である滋賀県立八幡養護学校の時に始まり、2008年に滋賀県立野洲養護学校に移転してからも継続してきました。</p> <p>近江兄弟社中学校で各クラスから2名ずつ選出され組織された交流委員会の生徒が、野洲養護学校中学部の生徒と年に3回お互いの学校を訪問する形で行っています。年間通して手話付きの歌に取り組んだり、グループを固定したりするなどの工夫により、3回目には、お互いの名前呼び合うなど、交流の深まりを見せています。この2年間は、直接出会っての交流ができないため、昨年度は、「マスクとちぎり絵プロジェクト」と称し、ちぎり絵の共同制作をしたり、近江兄弟社中学校の生徒が、手作りマスクをプレゼントしました。今年度はクリスマス飾りを共同制作しました。</p> <p>今後は、ZOOM等を使って、オンライン交流の機会が持てないか検討しています。長年にわたる交流を通じて共に学び成長できたことに対して、近江兄弟社中学校は交流委員会を、野洲養護学校は中学部の生徒全員を表彰します。</p>
	中 県立 野洲養護学校中学部	2月10日(木)	13:10	13:40	
3	中 草津市立 玉川中学校	1月13日(木)	16:00	16:20	<p>5年前から玉川中学校の2年生のうち、総合的な学習の時間「つながり学習」で学校分野を選択した生徒が草津養護学校中学部の生徒と交流を行っており、その学習の成果を学年報告会で伝えています。</p> <p>今年度は、玉川中学校の生徒が交流時に使用する目的で玩具を製作しました。残念ながら、新型コロナウイルス感染症の影響により交流が中止になったため、製作した玩具を草津養護学校に贈ることとなりました。製作段階から草津養護学校の生徒が使用していることを想像し、工夫をしつつ取り組みました。直接出会えなかったため、中学生の製作時の思いや草津養護学校の生徒が使用している様子や意見は、教員を通じてお互いに伝えられましたが、両校の生徒からは、「気持ちよかったです」と感想がありました。</p> <p>共に学ぶことを通じて相手のことを思いやる態度などを育むことができたことに対して、玉川中学校は2年生の生徒を草津養護学校は中学部の生徒を表彰します。</p>
	中 県立 草津養護学校	1月18日(火)	10:00	10:20	

提供年月日：令和4年（2022年）1月20日
部 局 名：教育委員会
所 属 名：生涯学習課
担 当 者 名：地域・家庭教育係 石田
（健康医療福祉部・子ども青少年局
子ども未来戦略室 総務・青少年係 山本）
電 話：077-528-4654 内線 4654
E - m a i l：ma06@pref.shiga.lg.jp

～令和3年度「しがこども体験活動実践交流会」を開催します～

コロナ禍において、人と人とのコミュニケーションの制限による影響や子どもの体験活動機会の減少による影響が指摘されており、改めて体験活動の重要性が認識されています。

そこで、子どもの体験活動や青少年教育に関わる機関・団体の企画運営担当者等を対象に、事例発表や意見交換等を通して、コロナ禍での青少年の体験活動の充実や活性化を図るとともに、各機関・団体の連携を推進する機会として、表記交流会を開催します。

- 1 日 時：令和4年2月3日（木）13:30～16:40
- 2 会 場：県庁 新館7階 大会議室 ※一部オンライン併用で実施します。
- 3 対 象：「しがこども体験学校」登録団体、行政関係者（市町教育委員会、公民館・コミュニティセンターで子どもの体験活動を企画運営する職員）、社会福祉協議会、地域での子どもの体験活動関係者、協力者団体 等
※会場参加の定員は100名程度
- 4 内 容：◆13:30～ 開会行事（開会あいさつ、日程説明）
◆13:35～ 事例発表①
「しがこども体験学校」登録団体の取組
NPO法人麻生里山センター（高島市） 石脇 和 氏
◆14:00～ 事例発表②
「地域での子どもの体験活動」の取組
竜王町公民館 副館長 関川 雅之 氏
◆14:25～ 各機関・団体のアピールタイム
◆15:00～ 情報交換（グループ討議・発表） ※会場参加者のみ対象
◆16:35～ 閉会
- 5 その他：事例発表①②およびアピールタイムはオンライン参加が可能です。
・新型コロナウイルス感染症拡大の状況によっては、研修会の内容や持ち方を変更する場合があります。



令和3年度

しがこども体験活動実践交流会

子どもの体験活動や青少年教育に関わる機関・団体の企画運営担当者等を対象に、事例発表や意見交換等を通して、青少年の体験活動の充実や活性化を図るとともに、各機関・団体の連携を推進する機会として開催します。

日時 令和4年2月3日(木) 13:30～16:40 [受付13:00]

場所 県庁 新館7階 大会議室 (大津市京町四丁目1番1号)

○会場参加の定員は100名とし、定員にない次第、申し込みを締め切ります。

○オンライン参加は、事例発表①②・アピールタイムのみとします。

《事例発表》

①「しがこども体験学校」登録団体の取組

NPO法人麻生里山センター 発表者：石脇和氏

②「地域での子どもの体験活動」の取組

竜王町公民館 発表者：副館長 関川雅之氏

《アピールタイム》 ※希望団体のみ

皆さんの前で各団体等の活動をアピールできます！

《情報交換・グループ協議》 ※会場参加者のみ

グループで情報交換し、今後の活動につなげましょう！



新型コロナウイルスの感染状況の変化に応じて、開催方法や内容等の変更があり得ます。

変更の場合は、滋賀県学習情報提供システム「におねっと」トップページに情報を掲載いたします。御了承願います。

問い合わせ

滋賀県教育委員会事務局生涯学習課

地域・家庭教育係 担当：石田

TEL：077-528-4654

FAX：077-528-4962

E-mail：ishida-yumi@pref.shiga.lg.jp

滋賀県健康医療福祉部子ども・青少年局

総務・青少年係 担当：山本

TEL：077-528-3550

FAX：077-528-4854

E-mail：yamamoto-chikako@pref.shiga.lg.jp

1/21(金)
申込×切

主催：滋賀県・滋賀県教育委員会

【参加申込書】に必要事項をご記入の上、
FAXまたはメールにてお申し込みください。



→ 検索

におねっと

提 供 日：令和4年（2022年）1月20日

部 局 名：教育委員会

所 属 名：保健体育課

担 当 者 名：学校体育係 富永

電 話：077-528-4627

E - M A I L：ma08@pref.shiga.lg.jp

令和3年度 オリンピック・パラリンピック教育 「地域ワークショップ」開催のお知らせ

【概要】

○「令和3年度 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」に係る
オリンピック・パラリンピック教育推進校の実践成果を報告する場として開催
します。

○共生社会におけるスポーツの役割について、「研究協議」と「外部講師による
講演会」を県内の教員および関係者等を対象に行います。

○今年度は、外部講師として音楽家(前川 裕美 氏 弱視ピアニスト)を迎え、
スポーツ以外の視点も交えた幅広い講演により、一層の理解を図ります。

【開催日時等】

日 時：令和4年2月2日(水) 9時～12時（受付9時～9時15分）

場 所：県立男女共同参画センター

対 象：県内の公立小・中学校、県立学校の教員および関係者等

内 容：【報告】県立虎姫高等学校

【講演】「音楽・スポーツと共生社会」

前川 裕美（まえかわ ゆみ）氏 音楽家 弱視ピアニスト

◇◇ 詳細は、別紙要項を参照してください ◇◇

※本事業は、スポーツ庁委託事業の一環で実施するものです。今年度は県内8校において、国際大会等で活躍するアスリートやパラアスリートを招聘する事業を展開しました。

別添資料 令和3年度 オリンピック・パラリンピック教育 地域ワークショップ開催要項

1 目 的

「令和3年度 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」に係るオリンピック・パラリンピック教育推進校の実践成果を報告するとともに、これまで行われた「アスリート招聘事業」ならびに「特別支援学校における運動機会充実促進事業」の発表の場とする。

また、共生社会におけるスポーツの役割について研究協議と外部講師による講演会を県内の公立小学校、中学校、県立学校の教員および関係者等を対象にワークショップを行う。

2 主 催 滋賀県教育委員会

3 開催日時

令和4年2月2日（水） 9:15～12:00（受付は9:00～）

4 会 場

滋賀県立男女共同参画センター（近江八幡市鷹飼町80-4）

交通：JR近江八幡駅より700m

5 対 象

県内の公立小・中学校、県立学校の教員および関係者

その他オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業関係者

6 内 容

実践報告および研究協議（60分）

実践報告：県立虎姫高等学校

矢盛 琢磨 教諭

糸原 綾 教諭

研究協議：「共生社会におけるスポーツの役割」

講演（60分）

「音楽・スポーツと共生社会」

講演者：前川 裕美 氏（音楽家 弱視ピアニスト）

7 日 程

	9:15		10:10		10:40		12:00
受	開	実 践 報 告	研 究 協 議	休	講 演	閉	
付	会						憩
9:00	9:30		10:30			11:40	

8 その他

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、密を避けるため、参加については定員を設けます。
- ・参加者は、毎日の検温、マスクの着用の徹底をお願いします。
- ・感染の状況により予定を変更することがあります。その際には、参加者に対し、事務局から速やかに連絡します。

【講師紹介】

前川 裕美（まえかわ ゆみ）氏

音楽家

第2回 ゴールドコンサート グランプリ受賞

第6回 全国障害者スポーツ大会のじぎく兵庫大会 開会セレモニー 出演

～プロフィール～

3歳から音楽教室に通い、6歳で作曲を始める。

幼少時より弱視であったが、小学校5年生のときに進行性の難病網膜色素変性症と診断される。

徐々に視力、急激に視野を失っていくなか、中学1年生からクラシックの作曲理論を学び始め、高校の音楽科（作曲専攻）に進学後は様々なジャンルの音楽に触れ、特に映画音楽とミュージカルに興味を持ち舞台にも出演する。

高校卒業後、単身アメリカに渡りテキサス州にて10ヶ月間、語学を主に学ぶ。

その後、ミシガン州にあるLeader Dogs for the Blind（盲導犬訓練施設）にて盲導犬グレースと出会い1ヶ月間の共同訓練を受ける。

1998年 マサチューセッツ州ボストンにあるバークリー音楽大学に入学。

作曲・編曲・声楽・ピアノを学び6年間の留学生生活を終える。

2004年 全国各地でトーク&コンサート活動を始める。

2009年 株式会社Grace Note を設立。代表取締役役に就任。

2014年 宝塚市大使に就任。

<その他 新聞掲載 ラジオ テレビに多数出演>

出典：前川 裕美 氏 Official Web Site より